

# 放課後児童クラブ 利用見込量の推計について

～小学校区別の利用実績と今後の推計予測～

## 【推計方法】

### (1) 推計期間

令和5年度～令和9年度（5か年）

### (2) 推計モデルⅠ

- ・小学校区ごとの利用率（クラブ利用児童／小学校児童数）をベースに推計。
- ・1年については、アンケートの結果を反映（令和5年度…5歳児アンケート結果、6年度分…4歳児アンケート結果）
- ・2～6年については、直近3か年（令和2年～4年度）の利用率の平均値を用いた。
- ・対象人口については、各年齢の住民基本台帳登録人数（基準日：R4.4.1）を用いた。

### (3) 推計モデルⅡ

- ・小学校区ごとの継続率（N学年の利用者／N+1学年の利用者）をベースに推計。
  - ・1年については、アンケートの結果を反映（令和5年度…5歳児アンケート結果、6年度分…4歳児アンケート結果）
  - ・2～6年については、直近3か年（令和2年～4年度）の継続率の平均値を用いた。
- ※ただし、途中入所等で継続率が100%を超える場合は、100%を上限とした。
- ・対象人口については、各年齢の住民基本台帳登録人数（基準日：R4.4.1）を用いた。

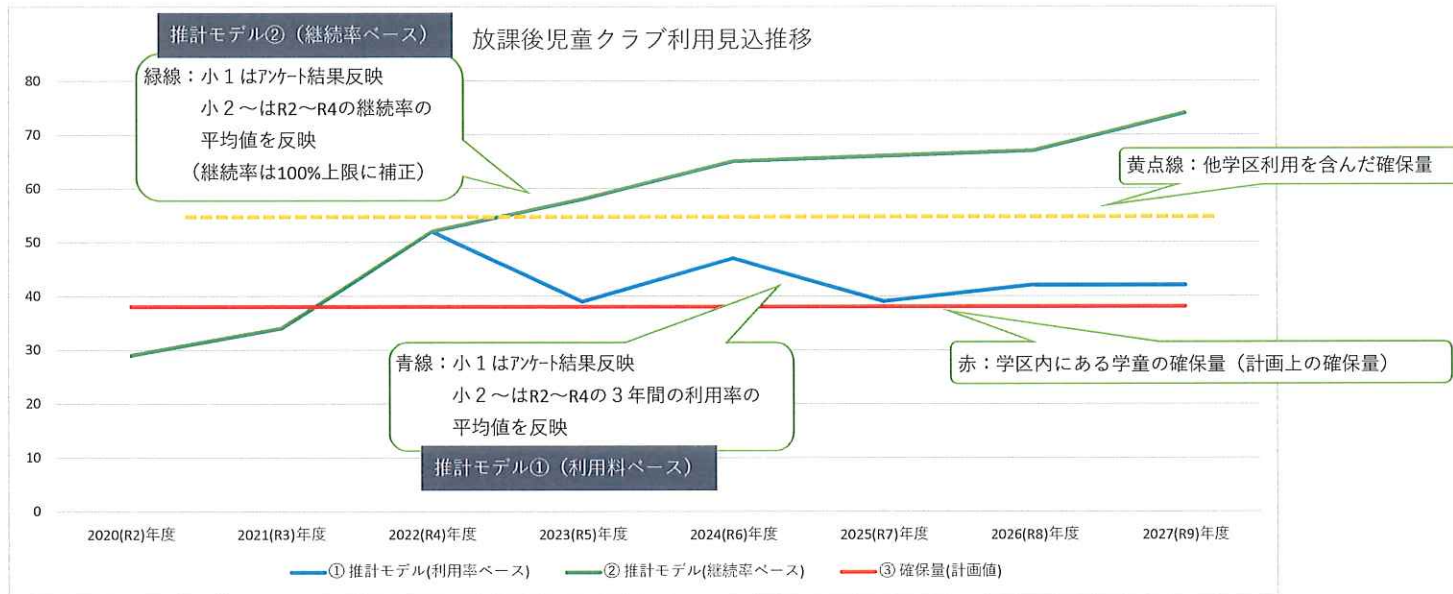
【〇〇学区】

確保量 38 人  
子・子計画上の学区別確保量

【学区内学童】 〇〇クラブ(38) 学区内にある学童 (計画上の確保量)  
 【学区外学童】 〇〇クラブ(35)  
 他学区の学童を利用する児童数 & 他学区からの受入児童数を含む確保量  
 = 実際の確保量を黄点線で表示。

R2～R4登録児童数(実績)と確保量の実績値

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	36	34	42	37	39	—	—	—
第2期計画 確保量	38	38	38	38	38	38	38	38
① 推計モデル(利用率ベース)	29	34	52	39	47	39	42	42
② 推計モデル(継続率ベース)	29	34	52	58	65	66	67	74



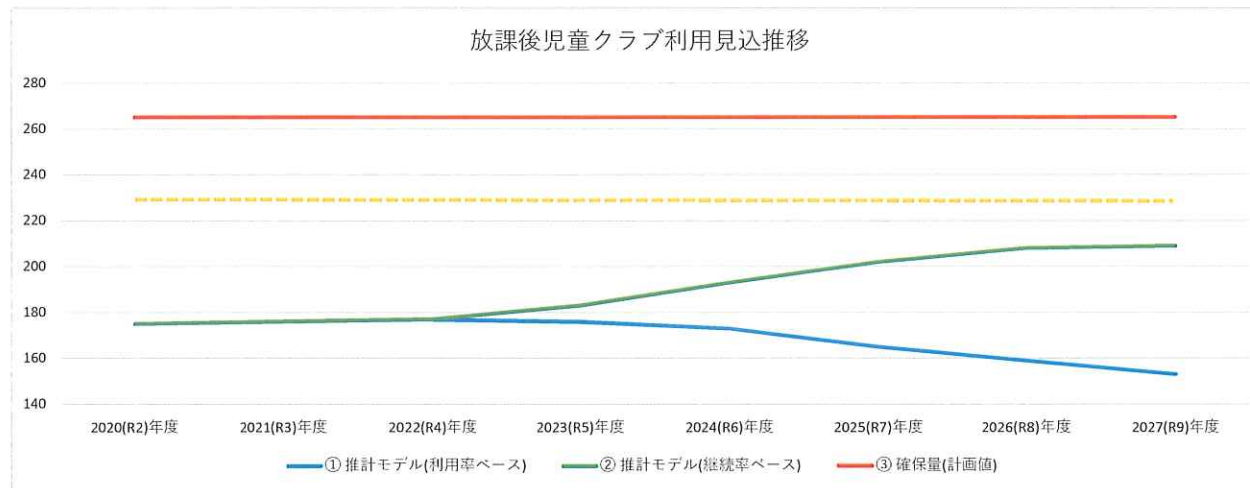
【八幡学区】

確保量 265 人

【学区内学童】 げんきクラブ(45)、のぞみ(180)、さくら(40)

【学区外学童】 YMCA(+9) 岡山小児童(△46)

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	197	189	185	172	161	—	—	—
第2期計画 確保量	265	265	265	265	265	265	265	265
① 推計モデル(利用率ベース)	175	176	177	176	173	165	159	153
② 推計モデル(継続率ベース)	175	176	177	183	193	202	208	209



○利用率、継続率、いずれの見込みも確保量内に収まる予測。

○のぞみ利用児の1/4は岡山小児童。他学区受入れが多いが、これを考慮しても確保量内に収まる見込み。(黄点線)

【島学区】

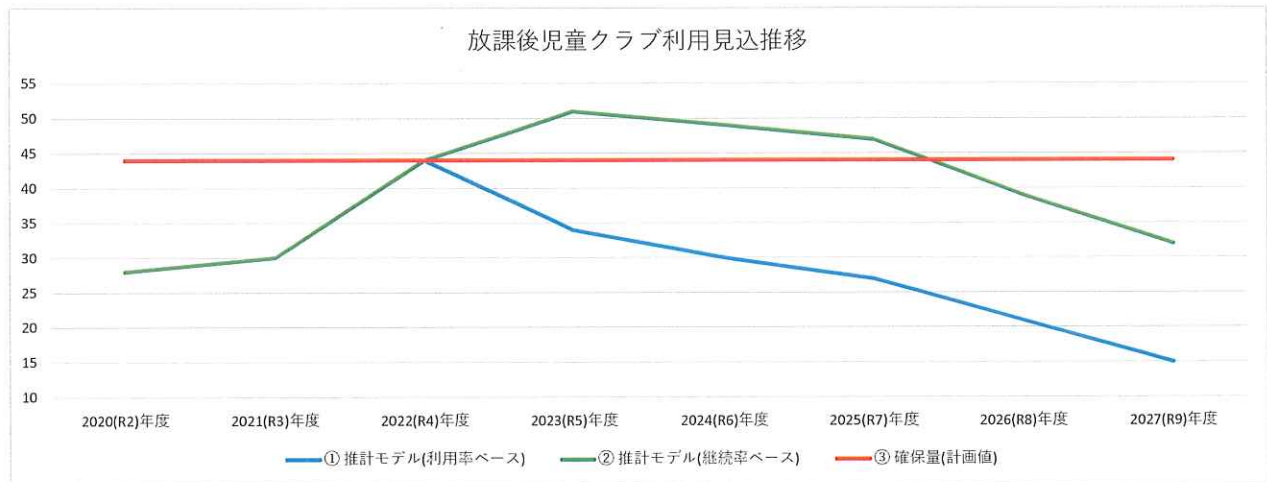
確保量

44 人

【学区内学童】 島の子フレンズ(44)

【学区外学童】 —

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	18	13	13	14	9	—	—	—
第2期計画 確保量	44	44	44	44	44	44	44	44
① 推計モデル(利用率ベース)	28	30	44	34	30	27	21	15
② 推計モデル(継続率ベース)	28	30	44	51	49	47	39	32



○R4小1の利用率76%で非常に高い。アンケート結果も非常に高く、5歳児75%、4歳児70%。

○利用者が年々増え、継続率による見込が確保量を上回る。これは、弾力化で島小を利用する学区外児童が増えている影響が大きいと考えられる。

○毎年、各学年、最大25名を他学区から受入れており、何年生からでも転校可。

○現在の学童利用者のうち、弾力化で通学する児童は31.8% (44名中14名)

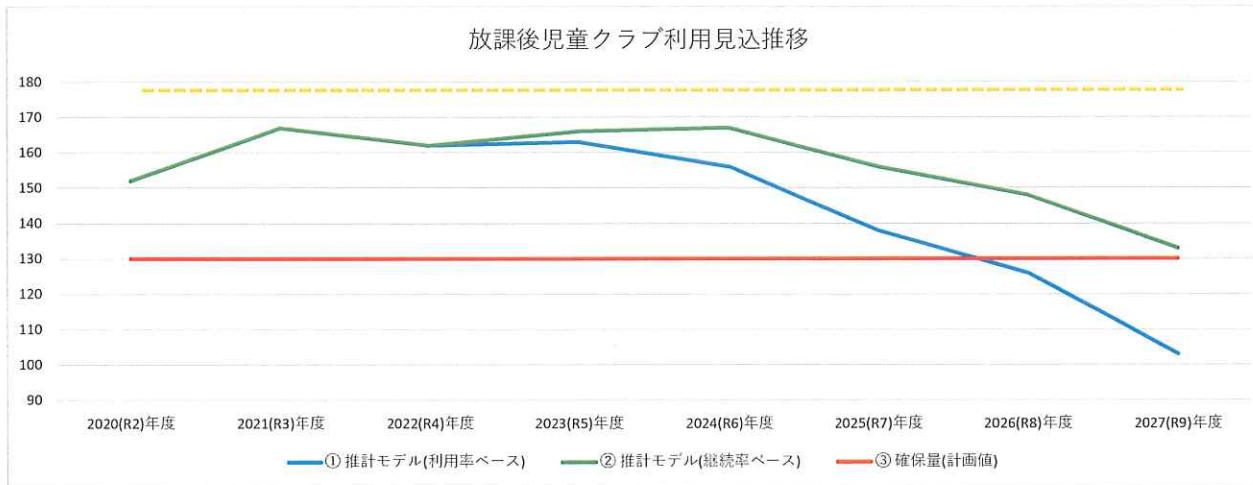
【岡山学区】

確保量 130 人

【学区内学童】 寺子屋水葦 1, 2, 3 (130)

【学区外学童】 のぞみ(+46)

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	145	147	136	127	119	—	—	—
第2期計画 確保量	130	130	130	130	130	130	130	130
① 推計モデル(利用率ベース)	152	167	162	163	156	138	126	103
② 推計モデル(継続率ベース)	152	167	162	166	167	156	148	133



○利用児童は確保量を上回っているが、のぞみ（八幡学区）を利用希望する児童が多く、他学区利用分を考慮すると確保量内に収まる。（黄点線）

○R 6 までは横ばい、それ以降は児童人口が急激に減少することに伴い、利用児童が減少する見込み。

【金田学区】

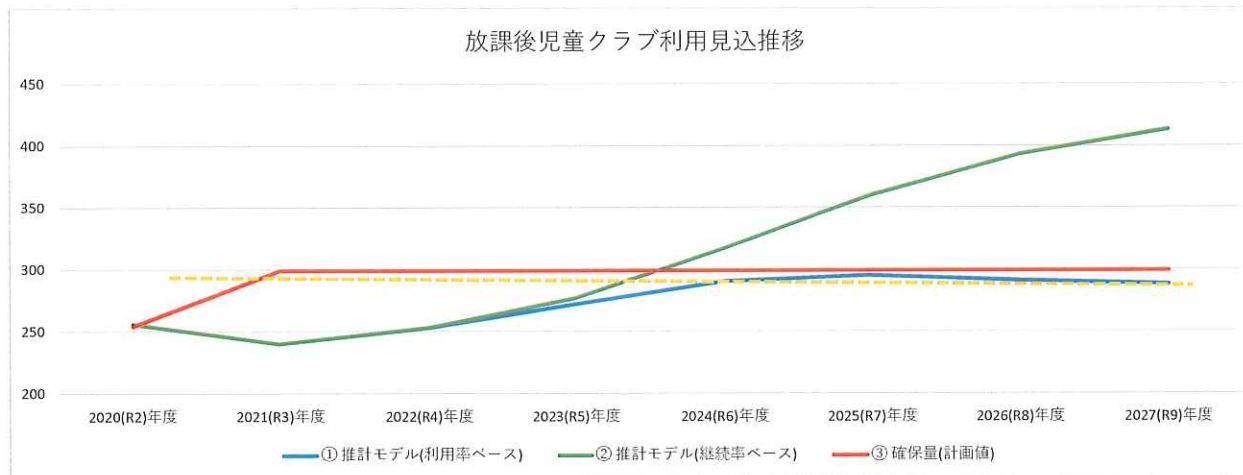
確保量 299 人

【学区内学童】 つちのこ(90)、まあむ(164)、滋賀Y M C A (45)

【学区外学童】 さくら(+13)、のぞみ(+5)

八幡小児童(△9)、桐原東小児童(△25)

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	267	264	260	255	254	—	—	—
第2期計画 確保量	254	299	299	299	299	299	299	299
① 推計モデル(利用率ベース)	256	240	253	272	290	295	291	288
② 推計モデル(継続率ベース)	256	240	253	277	317	360	393	413



○利用率見込は確保量通りの予測。継続率見込はR 6 年以降不足する予測。

○継続率見込の増加は、現在の小1利用率(44%)に比べ、4・5 歳児のアンケート結果が高く出たためと考えられる(5歳:54%、4歳:63%)。

○今後、小1の利用率が、アンケート結果レベルまであがれば確保量が不足する。

小1利用率50%のときR5:271名⇒R9:336名 利用率55%のときR5:278名⇒R9:366名 利用率60%のときR5:286名⇒R9:398名で推移予測。

【桐原学区】

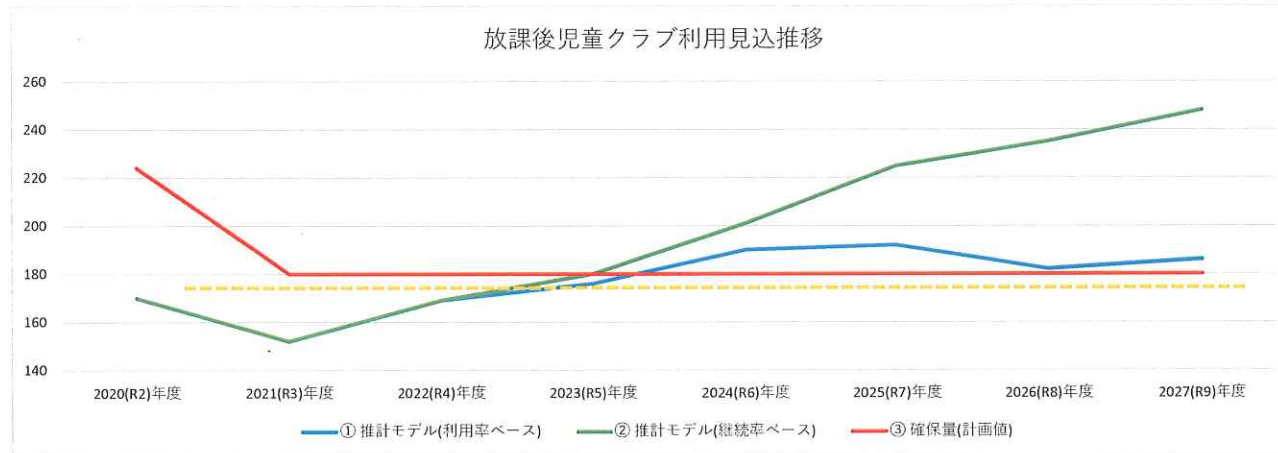
確保量

180 人

【学区内学童】 桐っ子夢クラブ1, 2, 3(135)、なかま〜ず篠原(45)

【学区外学童】 おかえり(+20) 桐原東小児童(△23)

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	192	183	184	176	177	—	—	—
第2期計画 確保量	224	180	180	180	180	180	180	180
① 推計モデル(利用率ベース)	170	152	169	176	190	192	182	186
② 推計モデル(継続率ベース)	170	152	169	180	201	225	235	248



○利用率見込はほぼ確保量通りの予測だが、継続率見込では、R6年以降不足する予測。

○これは、現在の小1利用率(43%)に比べ、4・5歳児のアンケート結果が非常に高く出たため(5歳:60.5%、4歳:75.7%)。

今後、小1の利用率が上がれば不足するが、小1利用率が60%で推移すれば最大201名までと予測。4クラブで定員+若干名受入で当面は対応可と考える。

⇒当面は4クラブで吸収できる範囲。



【桐原東学区】

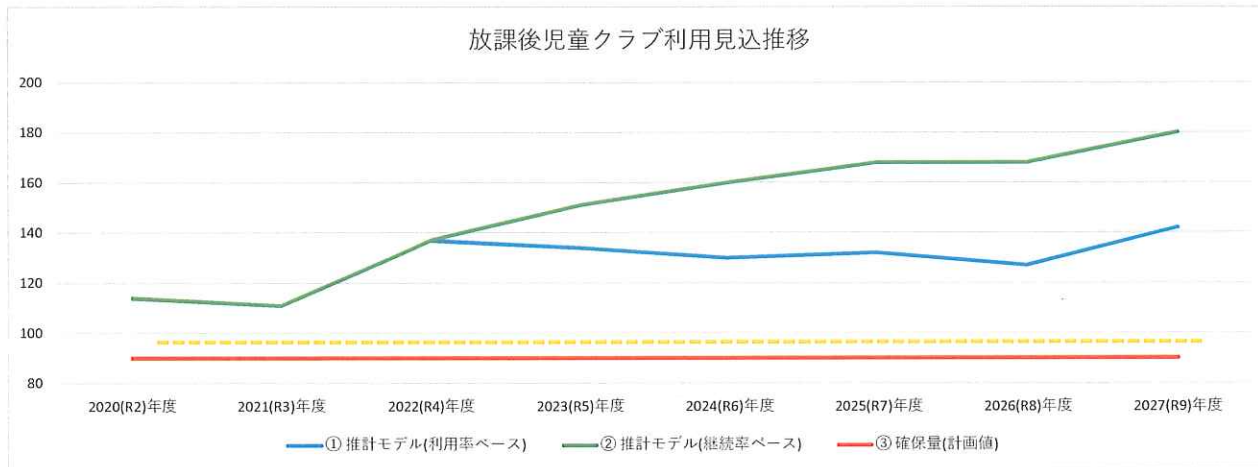
確保量

90 人

【学区内学童】 風の子クラブ(45)、おかえり(45)

【学区外学童】 なかま〜ず篠原(+23) 桐原小児童(△20)

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	74	75	80	76	74	—	—	—
第2期計画 確保量	90	90	90	90	90	90	90	90
① 推計モデル(利用率ベース)	114	111	137	134	130	132	127	142
② 推計モデル(継続率ベース)	114	111	137	151	160	168	168	180



○現時点でも確保量を超えており、今後も利用率、継続率いずれの予測からも増加する見込み。

○R4小1利用率は56%。市内でも高い割合。4・5歳児のアンケート結果も非常に高く(5歳児66.7%、4歳児67.4%)、今後さらに利用者は増える可能性大。

【馬淵学区】

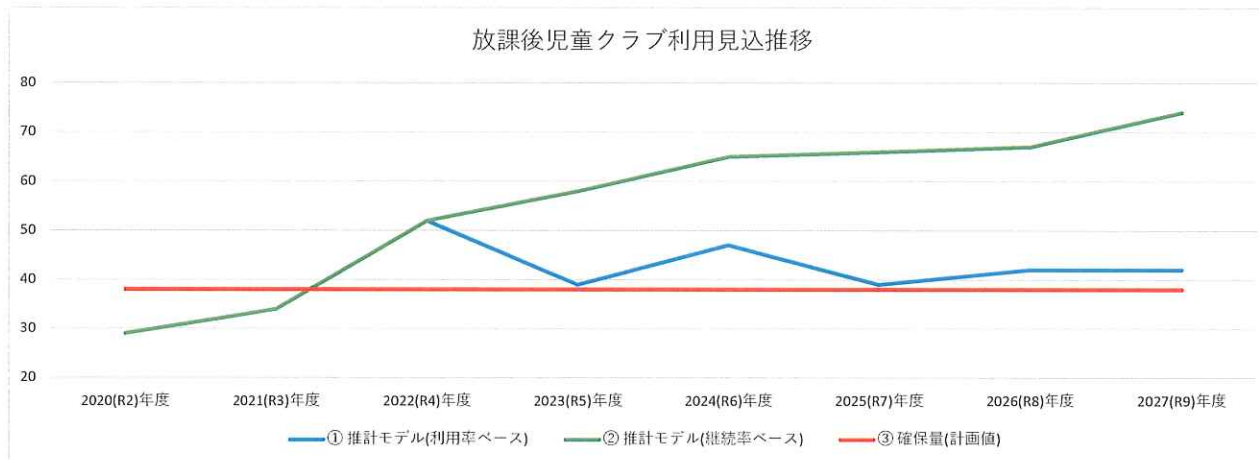
確保量

38 人

【学区内学童】 馬っ子クラブ(38)

【学区外学童】 —

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	36	34	42	37	39	—	—	—
第2期計画 確保量	38	38	38	38	38	38	38	38
① 推計モデル(利用率ベース)	29	34	52	39	47	39	42	42
② 推計モデル(継続率ベース)	29	34	52	58	65	66	67	74



○近年小1の利用率が急激に伸びており(R2:31%、R3:45%、R4:53%)、R4利用児童が大幅に増えた。現在、確保量を大幅に上回る受入れ状況。

○アンケート結果は特に4歳児で高く(4歳児76.2%、5歳児55%)、今後も利用児童は増える可能性大。

【北里学区】

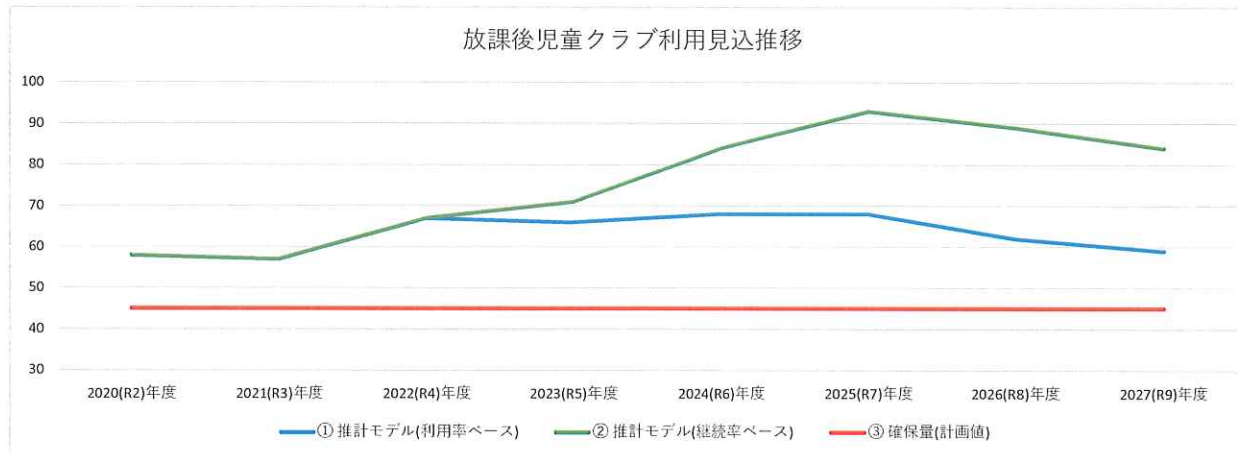
確保量

45 人

【学区内学童】 太陽(45)

【学区外学童】 —

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	52	51	53	53	51	—	—	—
第2期計画 確保量	45	45	45	45	45	45	45	45
① 推計モデル(利用率ベース)	58	57	67	66	68	68	62	59
② 推計モデル(継続率ベース)	58	57	67	71	84	93	89	84



- 近年、利用希望児童が増加。確保量を大幅に上回っている。
- 北里小近隣に200戸の住宅地が整備され、今後も利用者の増加が見込まれる。
- 現在、比較的利用率が低いですが、今後、他学区並みに伸びてくる可能性も大きい。4・5歳児のアンケート結果も他学区並の結果である。

【武佐学区】

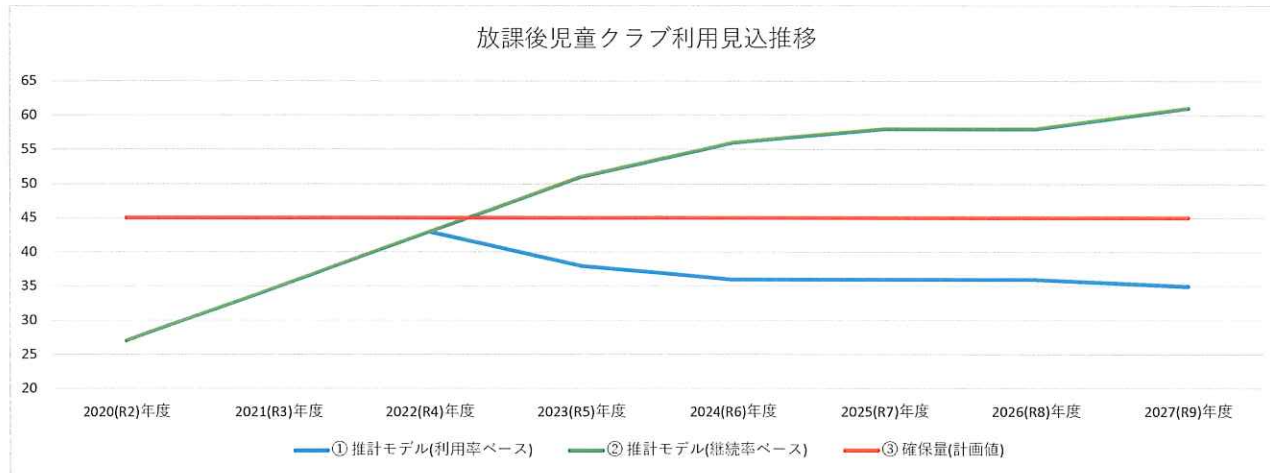
確保量

45 人

【学区内学童】 さん・ちるどれん(45)

【学区外学童】 —

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	52	53	53	51	43	—	—	—
第2期計画 確保量	45	45	45	45	45	45	45	45
① 推計モデル(利用率ベース)	27	35	43	38	36	36	36	35
② 推計モデル(継続率ベース)	27	35	43	51	56	58	58	61



○利用率見込は確保量より低く推移する予測だが、継続率見込は大幅に増える予測。

○小1利用率も伸びており、R2：40%、R3：38%、R4：52%。アンケート結果は、5歳児は52%だが、4歳児が66.7%と非常に高い。

○今後、小1の利用率が50%で推移すると、48~51名。55%で推移すると、52~54名の利用見込み。

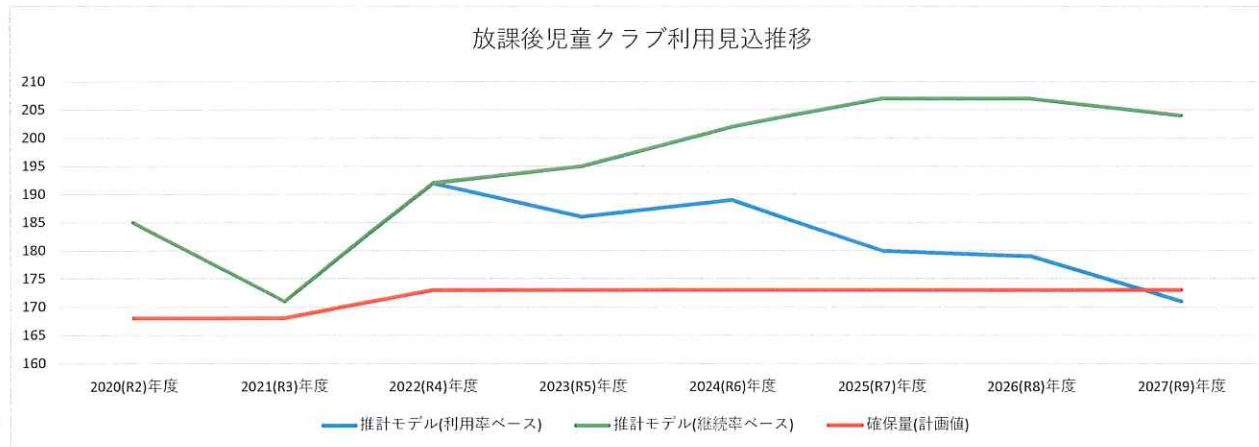
現在、全校児童194名に対し、利用者43名(22%)。R9の全校児童が163名程度の予定。利用率30%で49名。利用率40%で65名。

【安土学区】

確保量 168 → 173 人  
 ※かざぐるま定員増 R4～

【学区内学童】 ひまわり(89)、かざぐるま(45)、なかま～ず安土(39)  
 【学区外学童】 —

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	190	186	191	177	172	—	—	—
第2期計画 確保量	168	168	173	173	173	173	173	173
① 推計モデル(利用率ベース)	185	171	192	186	189	180	179	171
② 推計モデル(継続率ベース)	185	171	192	195	202	207	207	204



- 現在4クラブで定員+αの受入れ状況。数年先までこの状況が続く予定であるが、継続率見込で推移すれば、確保量を最大36名上回るため整備必要。
- R10,4～新安土CA完成予定。

【老蘇学区】

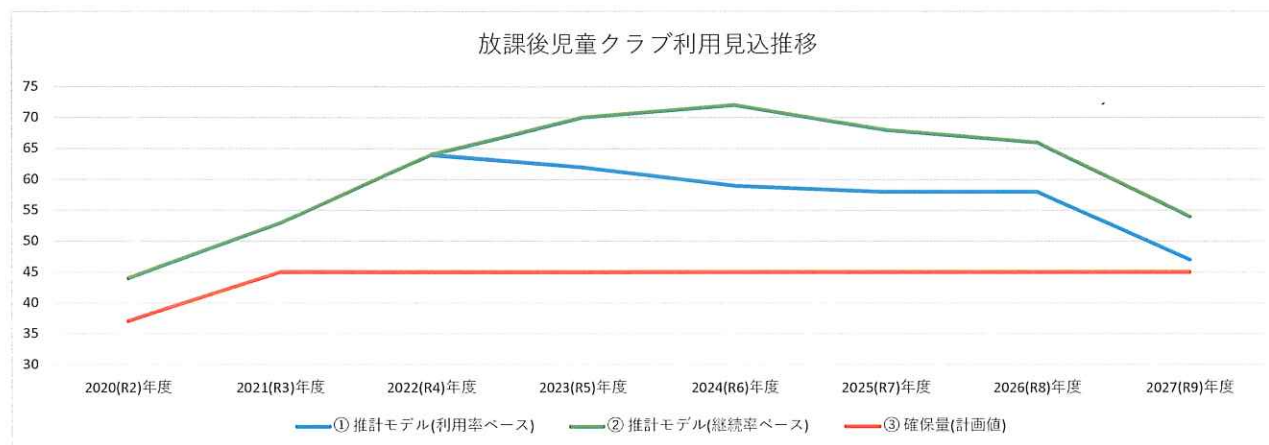
確保量

45 人

【学区内学童】 老蘇スマイル(45)

【学区外学童】 —

	実績値			見込量				
	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
第2期計画 量の見込み	32	41	47	42	41	—	—	—
第2期計画 確保量	37	45	45	45	45	45	45	45
① 推計モデル(利用率ベース)	44	53	64	62	59	58	58	47
② 推計モデル(継続率ベース)	44	53	64	70	72	68	66	54



○小1 利用率が近年急激に増加。R2：41%、R3：57%、R4：66%。アンケート調査も5歳児80%、4歳児61.9%と非常に高い。

○小1 利用率が60%で推移しても、数年は60名を超える利用見込みとなる予測。

○保育室として2教室分を利用中。場所そのままに2支援単位とする方法も検討できる。